

テレワーク・在宅勤務に必要な鉄壁防御

フルディスク暗号 + 強固なプリブート認証



電車などで
置き忘れても、
紛失しても



情報漏えいを防ぐ



自宅や外出先で
盗難にあっても

いつものパソコンが効率的なテレワーク・在宅勤務を実現

災害やパンデミックが発生した時に急遽実施される在宅勤務、働き方改革の実現に向けて計画的に行われるテレワーク。いつものオフィスで業務を行う場合と同じ環境で業務が行えることが、最も効率的で生産性を維持した在宅勤務・テレワークとなるでしょう。普段と同じ環境を実現するうえでの基盤となるのが、普段と同じパソコンを使用することです。

しかし、普段は職場から持ち出していないパソコンをそのまま持ち出して自宅へ持ち帰ることはリスクが伴います。そのリスクに対する対策が十分に行われないうえに在宅勤務・テレワークを実施してしまうと、事業継続のための在宅勤務・テレワークが事業停止の引き金となってしまふことがあります。

パソコンを持ち出すということは、職場に置いたままにする時とは異なり、移動中の電車に置き忘れるなどの紛失や、自宅や外出先で盗難にあふ可能性が生じます。パソコンを紛失することによって、その中に保存された重要なデータが流出してしまえば大きな損害になるでしょう。

たとえ重要なデータがパソコンに保存されていないとしても、紛失してしまったパソコンに保存されていないことを証明することはできません。



パソコンのデータが読み取られる状態かどうか

重要なデータが保存されていたかどうかではなく、第三者が簡単にデータを読み取られる状態のパソコンを紛失したことが、組織としての信用を大きく損なうことになるでしょう。情報漏えいはいらないと言い切るためには、パソコンがデータを読み取られない状態である必要があります。それを実現するのが【フルディスク暗号 + 強固なプリブート認証】です。

十分な対策が行われていないと・・・



2018年 個人情報漏えいインシデント 概要

漏えい人数	561万3,797人	一件あたりの漏えい人数	1万3,334人
インシデント件数	443件	一件あたり平均想定損害賠償額	6億3,767万円
想定損害賠償総額	2,684億5,743万円	一人あたり平均想定損害賠償額	2万9,768円

パソコンを紛失しても、盗難にあっても・・・ WinMagic SecureDoc で情報漏えいを防ぐ



フルディスク暗号によってデータの読み取りを防ぎます

暗号化されていないディスク（HDD/SSD）の場合、パソコンからディスクを取り出して別のパソコンに接続すると、Windows など OS のパスワードを入力しなくても中のデータを見ることができてしまいます。

WinMagic SecureDoc によって暗号化されたディスクであれば、パソコンからディスクを取り出して別のパソコンに接続しても、中のデータを読み取ることはできません。



強固なプリブート認証によってパソコンの不正な起動を排除します

ディスクの暗号化をしても、そのディスクを読み込むための認証（プリブート認証）を TPM のみの自動認証にしている場合、不正な第三者を含め誰がパソコンの電源を入れても OS が自動的に起動します。

パスワード総当たりが可能な認証や、TPM のみの認証方法ではディスクを暗号化した効果が薄れてしまい、ディスク内に保存されてるデータの保護が十分とはいえません。

WinMagic SecureDoc のプリブート認証は、パソコンの電源投入後の OS が起動する前にユーザー認証を求めるプログラムが起動し、不正なパソコンの利用を排除します。

パスワード誤入力回数によるアカウントのロックや、管理サーバーとの接続がない期間によるロック機能により、パスワードの総当たり攻撃にも対応しています。



管理サーバーがパソコンの暗号化状態を証明します

一度ディスクを暗号化したとしても、紛失・盗難にあった時に暗号化が解除されていた場合、情報漏えいを防ぐことはできません。

WinMagic SecureDoc では、管理サーバーとパソコンが定期的に通信することで、パソコンのディスクの暗号化が維持されていることを確認することができます。

WinMagic SecureDoc が導入済のパソコンが紛失・盗難にあった時には、管理サーバーの管理画面でパソコンの暗号化状態を証明することができます。

その他にも WinMagic SecureDoc には、こんな時に役立つ機能があります

- 持ち出さないパソコンのセキュリティ
- 暗号鍵の削除で安全なパソコンの廃棄
- BitLocker 暗号化パソコンの管理
- Mac OS の暗号化の管理
- Linux OS の暗号化の管理
- USB メモリの暗号化
- 物理サーバーの暗号化
- 仮想サーバーの暗号化
- 共有ファイルの暗号化